

【授業科目】 特別研究 I (基礎看護学) Master's Thesis I

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
柴田 英治	1年次 後期	選択	2	60	演習	巻末掲載
授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する フィードバック 方法	基礎看護学領域における課題(看護の特質—看護の対象、看護の本質・倫理—、看護の諸活動における専門性、他職種との連携、基礎看護教育：特に基礎看護技術教育等)を取り上げ、関連文献の検索、文献検討を行い、自分の研究課題を明確にし、研究計画を立てることができるよう、学生との議論しながら助言、指導する。 研究計画書について企画する。 課題に対するフィードバック方法/講義の中において口頭でコメントする。					
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー①、③の達成に寄与している。					
到達目標 (履修者が 到達すべき 目標)	①文献検索・文献検討を行い、研究課題を発見し明確化できる。 ②探求したい研究課題に関して、研究デザインを明確化できる。 ③研究課題を解明するため適切な研究方法を選択し、倫理的配慮を含めた研究計画書を企画できる。					
時間外学習 に必要な 内容・時間	研究テーマに関連する国内外の文献を幅広く検索し、文献検討を行い研究計画書の作成に臨む。(5～8時間) ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。					
授業計画	1～8 関心をもっている領域の文献の批判的検討 9～15 研究課題の検討 探究したい問いや現象が研究課題となりうるのか検討 16～25 研究方法の検討 1) 探究したい研究デザインについての検討 2) 探究したい現象についてのデータ収集方法の検討 3) 探究したい現象についての研究での倫理的配慮の検討 4) 探究したい現象の具体的なデータ収集方法の検討 (質問項目作成、インタビューガイド作成など) 26～30 研究計画書の企画					全て 柴田
評価方法 評価基準	演習における積極性および課題取り組み状況により評価する。					
教科書	適宜紹介する。		参考書等	適宜紹介する。		